

「第 22 回教育メディア利用セミナー」

平成28年10月14日(金) 青森県総合社会教育センター 大研修室

10月14日、県総合社会教育センター大研修室において、映画「ふるさとがえり」の上映と、対話型ワークショップを行いました。

ファシリテーターとして、映画「ふるさとがえり」監督の林 弘樹 氏、コメンテーターとして前八戸市視聴覚センター副館長の新田 隆 氏、県立北斗高等学校教諭の田中 耕治 氏をお招きしました。

映画上映後の対話型ワークショップでは、コメンテーターのお二人をはじめ、多くの参加者からの意見を林監督に引き出していただき、いくつかの動画資料を使いながら、参加者の興味を喚起する進行をしていただきました。また、全国公民館セミナーで行われた映像作成研修の事例は、参加者の興味を大いに引きました。

参加者からも「映画の中に、たくさんの地域の人々に贈りたい言葉が詰まっていた」、「映画だけでなく、ワークショップでも数々の気づきがあり、得るところが大きかった」、「生きることについて考えさせられた」などの感想が多数寄せられました。

<ファシリテーター紹介>



林 弘樹氏 (映画監督)

【略歴】

1974 年生まれ、さいたま市出身、獨協大学外国学部卒。幼少時より医者を目指していたが、15 歳の時に観た映画「ニューシネマパラダイス」で魂を揺さぶられ、映画の道を志す。大学卒業後、助監督として黒沢清、北野武監督等の元で働く。28 歳の時に、映画「らくだ銀座」にて監督デビュー。国際映連・A 級世界十大映画祭にも招待され、評価をうける。全国各地で、今まで数十万人の人を巻き込み、日経地域情報化大賞、地域づくり総務大臣賞受賞。映画「ふるさとがえり」(2011)は公開から5年半たった今もなお、全国1200ヶ所でロングラン公開中。アジア・太平洋の子供達を繋ぐ、映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」が全国劇場・世界30か国で上映。最新作は映画「惑う after the rain (2017)」。

【主な活動】

- ・社会創造家
- ・図書館プロデューサー
- ・全国公民館応援団長
- ・経産省キーパーソン研究会委員
- ・内閣府地域活性化伝道師

